８８億円の「太閤堤事業」より
子育て・くらし・福祉に予算を

太閤堤」予算可決
共産党提案 関連予算削減の修正案、1票差で否決

3度目の計画案では 市の実質負担は増加

6月議会の最終日、市長が提案した 宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業」（太閤堤事業」）のＰＦＩ事業予算（20年間予算）が採決されました。太閤堤事業」予算は、これまでに2度議会で削除されたものを市長が見直したとして提案したものです。3回目となる今回の案では、宇治公民館廃止と一部機能移転を撤回して、建設費は2億5千万円下がるものの、賃料収入が減るため市の実質負担は、▲8千万円から3億8千万円へと大幅に増えるというものです。

共産党、修正案を提案 修正案、特別委設置

共産党は、予算案から、太閤堤事業」関連費用を削除する修正案を、他会派議員と共同で提案。これまで同様の修正案に賛成してきた自民党が反対に転換し、修正案は、1票差で否決されました。賛成：共産・公明・宇治維新の1人／計13票、反対：自民・民進・宇治維新の1人・無会派／計14票）

予算の可決にあって自民党は 喫緊の行政課題に対応する適切な財源確保に向けて、事務事業を見直し効率化を進めること、定員管理計画の確実な履行、公共施設の効率的な整備など、不断の覚悟で行財政改革をおこなうことを求める。」等とする付帯決議を提案し、財源確保のために市民サービスを切り捨てることを求めました。付帯決議は、党議員団以外が賛成し可決されました。

最大級の公共事業 効果は説明できず

太閤堤事業」は、建設費が69億4千万円、建設後16年間の維持・管理費が18億6千万円、総額88億円という宇治市史上でも最大級の大型事業です。

市は、事業の効果として、定住促進」観光客の滞在時間延長」宇治のまち全体の品格が向上」などをあげています。ところが、党議員の質問に、観光入込客数や観光客の滞在時間延長、経済波及効果などは、ＰＦＩ受託事業者から、具体的な施設整備計画を提案されていない現在の段階で算出することは困難だと答弁。市の行う大規模公共事業の見通しが民間事業者しだいで、はっきりしない。そういう段階で巨大な予算を議決というのは無責任です。

定住促進」や 品格向上」については、明確な根拠も数量も示すことはできませんでした。

根拠の薄い入場者予測 源氏9万、太閤堤11万

市の計画では、ミュージアム（博物館）に、毎年11万人が入場するとし、開館直後はさらに5万人も多く見積もっています。しかし、その算定には根拠がありません。源氏物語ミュージアムが年間9万人なのに、太閤堤」で11万人は、過大な入場者予測ではないでしょうか。

建設費増大の危険性

予算のもととなる工事費の見積もりでは、２０１２年の基準を用いていますが、その後原材料費や賃金も上昇しており、オリンピック関連工事の影響でさらに変動が予想されます。大型公共事業は、当初計画より大幅に高くなる事例が多発しています。同様の危険が大きいのではないかとの質問に対し、市ははっきりと否定することができませんでした。

ＰＦＩ方式 市外大企業へ発注

市は、太閤堤事業」をＰＦＩという方式で実施することに固執してきました。ＰＦＩ方式は、公共施設の設計・建設・管理・運営を一括して民間企業に長期契約でまかせるというものです。ＰＦＩに応募できる企業は、大きな工事実績や 博物館運営実績」のある企業に限られ、宇治市内の会社は1社も応募できません。

計画を縮小し、ＰＦＩをやめて、事業を分割すれば市内企業が請けることができます。

太閤堤」ストップのたたかいはこれから

党は、太閤堤跡を史跡として保存することなどに絞って事業を縮小すること。市外大企業に一括してまかせるＰＦＩ方式をやめ、市内企業に発注する方式に転換。

事業規模の縮小、ＰＦＩ方式からの転換、公民館は存続・建替えを

宇治公民館・市民会館は存続して建て替えることなどを提案しています。

ＰＦＩ事業を進めるためには、事業者の選定基準や契約議案の議決などいくつもの段階があります。市民は、太閤堤事業」の推進を歓迎しておらず、巨額の事業をやめさせ、子育て、くらし、福祉に予算をまわさせるたたかいはこれからです、

党議員団は、みなさんと力をあわせてがんばります。

日本共産党
宇治市会議員団だより
２０１７年７月
電話 22-3141（市役所：内線 2817）
ﾌｧｸｽ 24-7884（直通）
ﾒｰﾙ　jcpuji@leto.eonet.ne.jp